

# 30年以上のノウハウに基づく 図面・文書管理ソリューションを提供

インタビュー

株式会社アイサイト


<https://www.i-site.co.jp/about-us/>

愛媛県松山市松末1丁目 7-44

・事業内容：図面・文書管理システムをはじめとする各種業務支援ソフトウェアおよびクラウドサービスの提供及びソフトウェアの受託開発サービスの提供

・設立：2005年11月



## ユニークなサービス・製品を提供できる会社を目指して

アイサイトは2005年に前身の建設会社のIT子会社からスピンアウトして設立された会社です。創造 (Creation of Value)、発展 (Interactive Development)、貢献 (Co-work & Contribution) を社是として、自社開発ソフトウェアの販売、自社ブランドのクラウドサービスの提供、受託開発サービスの提供に加え、システム構築のためのハードウェアの販売や他社のソフトウェアの代理販売なども行っております。

現在では全国で69名の社員がおり、約7割程度が開発業務に従事しています。本社がある愛媛の他に、東京、大阪、福山に拠点があり、お客様に幅広く製品・サービスの提供を行っています。なお、販売先は国内に留まらず、アジア圏を中心に販路を拡大しており、すでに香港やシンガポール・タイでもシステムの導入実績があります。

前述のとおり、「創造」はアイサイトが創業当初より掲げる社是の一つで、「ユニークなIT製品やITサービスを提供できる会社」を目指しています。そのための社内での取り組みとして、「エンジニア10%ルール」という制度を設けています。これはエンジニアが業務時間の10%を業務外の研究開発にあてる試みで、エンジニアに自由な発想でプログラムを組む時間を設けることで、独創的なソフトウェアを生み出す環境を作りたいという思いから始まった制度です。個人でもチームでも参加が可能ですが、唯一の条件は「他社がやっていない売れそうなソフトウェアの研究開発」であることです。将来的にはこの取り組みからアイサイトの

新製品の卵が生まれることを期待しています。

社名である「アイサイト」には「自分の居場所」という意味が込められており、社員が会社を居心地のよい場所と感じられるような環境づくりにも取り組んでいます。この業界では、集中すると時間を忘れて仕事をしてしまうことが多くあります。納期やお客様の依頼内容によるところもありますが、一時の無理が後々健康や私生活に悪影響を与える可能性もあり、ワークライフバランスが崩れてしまうと会社も社員も幸せになれません。アイサイトでは、社員のワークライフバランスの向上を目指し、積極的な育休の取得や柔軟な働き方ができる環境の整備にも力を入れています。これまでも女性社員の育休取得率は100%でしたが、今年に入って男性社員が3か月の育休を取得しています。そのほか、障がいを持ったお子さんを育児中の社員や、介護中の社員にはベースを在宅勤務にするなど、個人や家庭の事情に配慮しつつ活躍してもらえ環境を整えています。結婚により拠点のない地域へ転居した社員も在宅勤務を選択し、出産・育休を経て現在も活躍しています。

アイサイトでは長年蓄積してきた技術と知識を活用したソリューションを提供しています。代表的なソリューションは、JIIMA入会の直接のきっかけとなった文書管理システム「D-QUICK」ですが、それ以外にも多様なソリューションがあります。

その一つが、スポーツ・ヘルスケア業界向けのソリューション「i☆シリーズ」です。これは、フィットネスクラブやスポーツジム、スイミングスクール向けに会員管理を中心とした製品となります。入会手続、スクールやレッスンの予約/振替、会費の引落とし、



アイサイトが展開するソリューション一覧

物販の管理など会員の管理を行えることはもちろんですが、お客様の体成分を測定し、測定結果に基づく運動処方を行うことも可能となっています。例えば、上半身に筋肉をつけてマッチョになりたい、美しいシルエットを取り戻したいといった個別のニーズに合わせて、体成分の測定結果に基づき運動の種類や頻度を検討し、最適なメニューを提示してくれるのです。

このシステムは、20年以上もの間、お客様にご利用いただいています。今では北海道から沖縄まで600以上の施設でご利用いただいております。アイサイトの主要事業の一つとなっています。

その他にも、前身の建設会社のIT子会社時代からのノウハウを生かした建設労働組合向けのシステムや行動特性分析を活用したコミュニケーション補助ツールの提供、プラントなどの図面の設計支援業務の提供、お客様のご要望に応じてシステムの開発と構築を行うシステムインテグレーションサービスの提供などを行っています。



フィットネスクラブ・スポーツジム向けトータルソリューション「i☆Series」

30年以上のノウハウを生かした自社開発の文書管理システム

前述のとおりアイサイトを代表するソリューションが「D-QUICK」です。この製品は図面管理を主目的とした文書管理システムであり、アイサイトの最初の自社開発ソフトウェア製品でもあります。

前身の会社の時代から提供していた旧バージョンも含めると、今年で33年目を迎える歴史あるシステムですが、ユーザー様の声を反映して定期的にバージョンアップを行ってきています。

本システムは基本的な文書管理の機能を持ち合わせており、あらゆるユーザーにご利用いただける製品になっています。本システムは大きく4つの特長を持っています。

1つ目は、ユーザビリティの観点から、利用者の多いWindows PCと同じ操作性を目指した点です。ファイルの移動や削除などを直感的に操作でき、新規導入した際に操作に迷うことがありません。管理者の方もユーザーからの操作方法の問い合わせ対応が少ないといったメリットがあります。

2つ目は、強固かつ柔軟なアクセスコントロールです。閲覧権限だけではなく、取出しや改訂が出来る出来ない等のアクセス権を柔軟に設定することが可能です。

3つ目は、APIを利用したシステム連携を行うことが簡単にできる点です。他のシステムからデータを連携し登録することやデータを出力して他のシステムに連携をさせることが可能です。電帳法の電子取引の対応という点ではタイムスタンプは必須ではありませんが、システム導入後でも必要となればAPIを利用することでタイムスタンプの付与が可能で、拡張性の高いシステムとなっています。

4つ目は、図面管理に特化した機能を持っていることです。あまり他の文書管理システムにはないCAD図面のプレビュー表示や原本と承認データを一元管理するためのレンディション管理機能、部品の情報が更新された際にその部品を利用している製品の情報を一括で更新するリンク機能などがあります。これら機能は、建設業界はもちろん製造業においても好評であり、多数のユーザーにご利用いただいています。



図面・文書管理を一元管理し、安全に共有ができる文書管理システム&クラウドサービス「D-QUICK シリーズ」

アイサイトの強みは、製品を自社開発できることだけではありません。お客様環境を把握し、最適なシステムのインテグレーションを行えることも大きな強みとなります。お客様のご要望に応じて、パッケージ製品だけではどうしても足りない機能を追加開発によって補うことや、APIを利用してお客様の既存システムとつなぎ合わせることも対応し、お客様にご満足いただけるシステム構築を行っています。

## JIIMA入会へ。デジタル社会の実現に期待

この度、ナカシャクリエイテブ副社長の久田様のご紹介で入会させていただきました。アイサイトは文書管理システムを提供しており、JIIMAの活動及び認証制度には以前から興味を持っていました。また、昨今は電帳法への対応を求められるお客様が増えており、文書管理システムについてJIIMA認証を取得し、JIIMA認証製品としてユーザーの方々に安心して使っていただきたいという思いでございます。

電帳法についてこれからも継続して理解を深めていくため、まずは各種委員会の活動を見学し、アイサイトにあった活動に参加させていただきたいと考えています。また、お客様への提案力向上のため、社員に対して文書情報管理士の資格取得を推奨しており、入会を機に社内制度の整備も行い、資格取得者を増やしていきたいと考えております。

JIIMAには、本格的なデジタル社会への変革に向けた活動に更に積極的に取り組んでいただくことを期待しています。政策提言などを通じ、よりペーパーレス化が進むよう推進していただきたいと思います。



「アイサイトは、学ぶ姿勢を大切にし、情報技術の力で皆様の信頼に応えるパートナーであり続けます」

取締役 東京支店長 兼 プロダクト事業部長 岡村 峠氏

## 地域社会に貢献する企業を目指して

アイサイトの社是の一つに「貢献」という言葉があります。お客様から信頼され、地域社会に貢献する会社を目指しており、SDGsの達成に向けても積極的に取り組んでいます。

アイサイトは、「地域社会と協働する会社」として、地元愛媛で働きたい人材の積極的な採用や地方創生プロジェクトへの支援を通じ、ビジネスの基盤である地域社会の活性化に貢献したいと考えています。

また、アイサイトはデジタル革命の一翼を担うことを目標としており、自社の事業遂行において環境に配慮することはもちろんのこと、自社のソフトウェア製品およびクラウドサービスの提供を通じたペーパーレス化の推進により、お客様の業務における紙資源の消費の削減をご支援することで、SDGsの達成に寄与していきたいと考えています。